

# 外食・中食 調査レポート

## 麺市場 ~ 中食市場で“ラーメン・チャンポン”を凌ぐ“冷たい麺”~



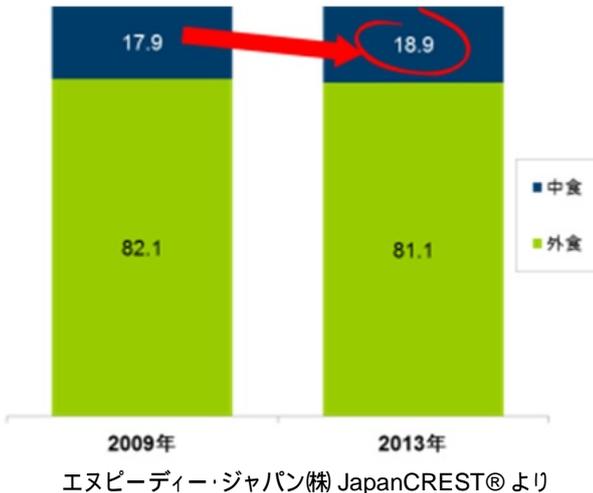
【東京、2014年2月28日】「そば・うどん」業界といえば、1兆700億円を超えるマーケット規模を示す一方でガリバーとなる大手チェーンがなく、外食業界では「残された最後の巨大マーケット」と言われてきた。

今回のレポートでは、この麺市場のトレンドについてエヌピーディー・ジャパン(株)が提供する外食・中食市場情報サービス『CREST<sup>TM</sup>』から探ってみる。

### ■ 麺市場<sup>2</sup>は中食にシフトしている。

まず、図表1は麺市場における外食・中食比率の推移を5年前と比べたものである(図表1)。2013年における麺市場の食機会数を見ると、2009年と比べてほぼ横ばいであった。

【図表1】 麺市場における外食・中食比率(%)  
(2009年 vs 2013年)



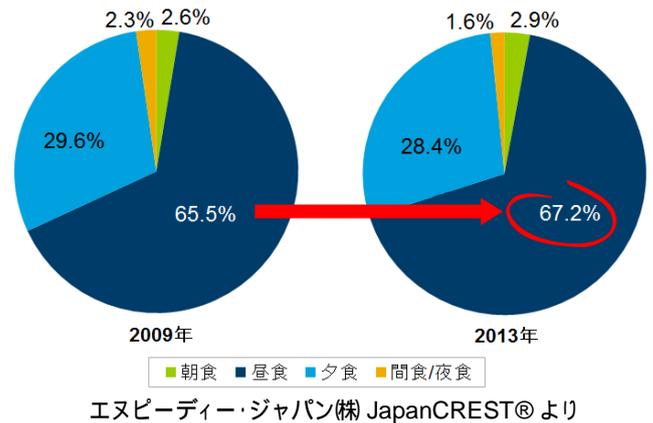
この外食・中食比率に注目すると、中食が+1.0ポイント増加していることがわかった。また中食で麺類メニューが選ばれている業態を分析すると、2009年はコンビニが37.3%と最も大きなシェアを占めたが、ここ数年はそのシェアは減少傾向で、2013年はスーパーがコンビニを押さえてそのシェアを伸ばした(特典データ参照)。

外食・中食の麺市場の食機会には大きな伸びこそないものの、その中でも中食においてはスーパーを選ぶ消費者が微増傾向のようだ。

### ■ 麺類はランチでの食機会<sup>3</sup>が多く、増加している。

それでは麺類はどんな食機会選ばれているだろうか。図表2は、外食・中食市場における食機会別シェアについて、直近1年と2009年とを比較したものである(図表2)。

【図表2】 外食・中食市場 麺類の食機会別シェア(%)  
(2009年 vs 2013年)



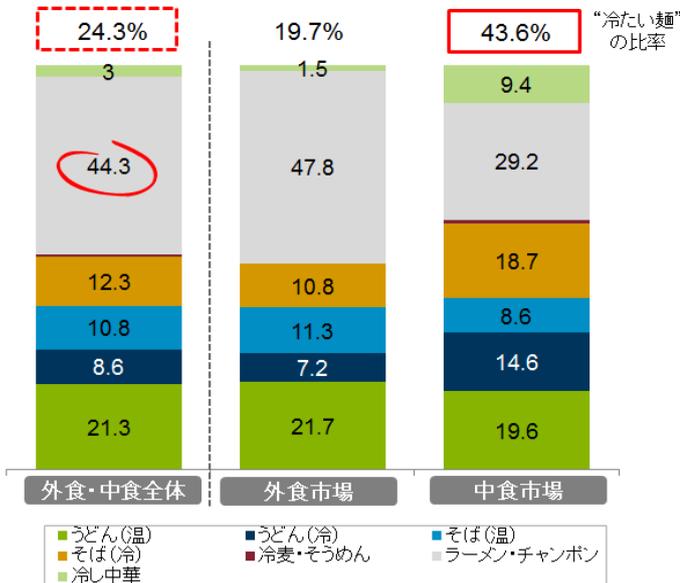
これをみると、麺類は昼食の食機会シェアが60%以上と全体の中で最も多く、2009年と比べると昼食のシェアは+1.7ポイントと最も増加している。麺類はランチで食される機会が圧倒的に多く、以前と比べてより選ばれていることが伺える。

### ■ 中食市場では「冷たい麺」のシェアが大きい。

「麺類」は昼食で食べられる機会が圧倒的に多いことが、これまでの分析でわかった。では、麺類のなかでも一体どんなメニューが好まれているのだろうか。

図表3は2013年の外食・中食市場における麺類のメニューシェアを比較したものである(図表3)。

【図表 3】 外食・中食麺市場 メニュー別シェア  
(2013年 食機会ベース:%)



図表 3 の外食・中食全体のメニューシェアを見ると、「ラーメン・チャンポン」が全体の 44.3%で最も大きいシェアを占めている。一方で中食市場のメニューシェアに注目すると、「ラーメン・チャンポン」のシェアは 29.2%で、外食・中食市場全体と比べて小さい。

この中食市場でシェアを伸ばしているメニューをさらに分析すると、「冷たい麺類(冷やし中華、冷麦、そば(冷)、うどん(冷)の合計)」の比率が興味深い。この「冷たい麺」の比率に注目すると、中食市場では「冷たい麺類」の比率が 43.6%で、外食・中食全体の比率(24.3%)と比べて著しく高いことがわかった。

麺市場においては、中食やランチの食機会比率に微増がみられるなか、とりわけ中食市場における「冷たい麺」メニューのシェアが、中食・外食市場全体と比べて高い傾向がみえた。つまり麺類メニューを選ぶ消費者は、手軽に食べられる中食の「冷たい麺」を選ぶ傾向がみられるようである。

#### 本 PR ご購読特典 (2014年3月末まで)

「業態別シェアの推移」がわかるパワーポイントデータを無料でご提供いたします。ご希望される方は、NPDの貴社ご担当者および右のお問合せ先までご連絡ください。

#### \*1 CRESTとは

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1年365日、直接消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。(海外各国版もご用意)

詳細は <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

#### \*2 麺市場とは

JapanCREST®では、和洋中のあらゆる麺類を調査しています。今回は記事構成上、「うどん」「そば」「冷麦」「ラーメン・ちゃんぽん」「冷やし中華」を抽出し麺市場と定義して分析しています。

#### \*3 食機会数とは

外食・中食を利用した延べ食機会(朝/昼/夕/間食)数

### NPD 最新ニュース:



調査地域が全国へ拡大、さらに 60~79歳のシニア層のインサイトを追加し、様々なニーズへのご提案が可能です。詳細情報をご希望のお客様は下記までお問合せください。

#### お問合せ

エヌピーディー・ジャパン株式会社

セールス&マーケティング 高橋

Email: [npdjapan.info@npd.com](mailto:npdjapan.info@npd.com)

〒108-0074

東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 13F

TEL: 03-5798-7663 / FAX: 03-5798-7665